



強度行動障害者支援現場でお悩みの方におすすめ

▶ 障害者支援施設 ▶ 生活介護 ▶ 共同生活援助 (グループホーム) ▶ 重度訪問介護

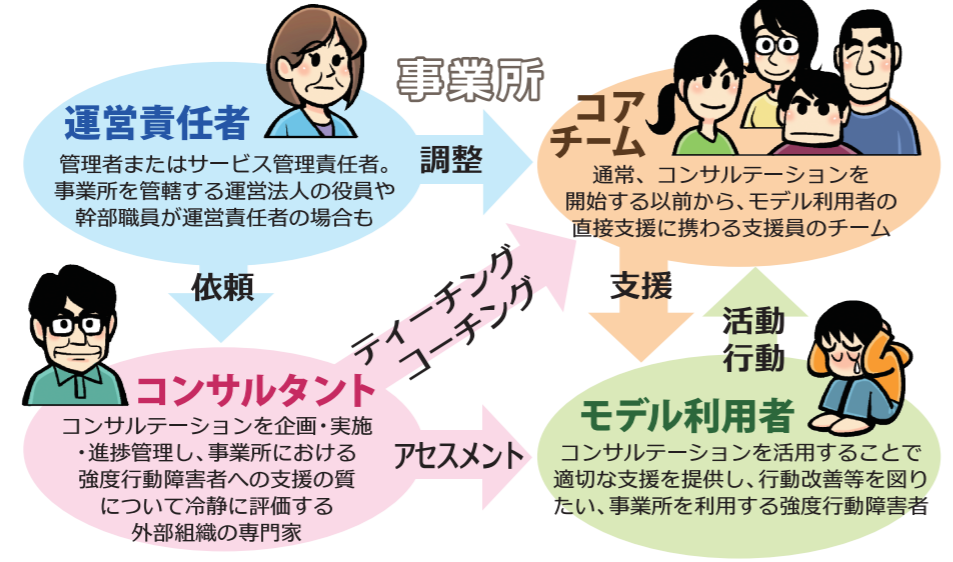
コンサルテーションを活用しましょう!

強度行動障害者支援のコンサルテーションとは?

2013年度より始まった強度行動障害者養成研修を全国で毎年1.5万人以上がこの研修を受講しています。しかし、残念ながら、多くの障害福祉サービス事業所では、この研修で学んだ支援方法を実践できていません。そのため専門家が事業所に訪れて支援に困っている実際の利用者の支援を通して一緒に問題解決を模索することです。

誰がどんなことを?

強度行動障害のある**モデル利用者**への実践を通して、適切な支援のあり方を**コアチーム**が継続的に学び続ける。そしてその継続的な学びを**運営責任者**が依頼した**コンサルタント**が効果的に企画・実施・フォローします。



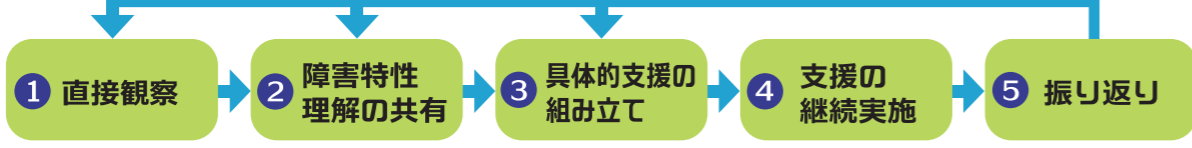
コンサルテーションの流れ

プロセス1 事業所とコンサルタントのマッチング

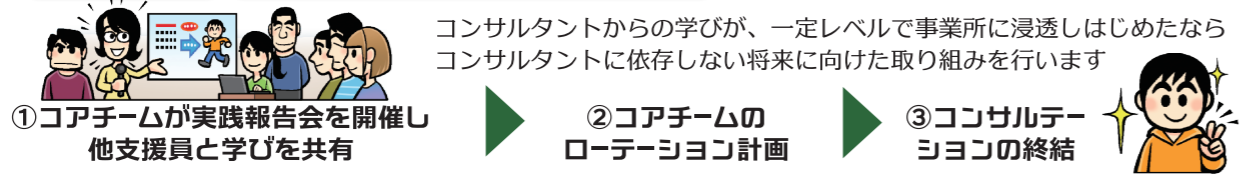


プロセス2 新しい支援の動き出し/5つの基本要素の繰り返し

モデル利用者に対して、コンサルタントとコアチームが最初に着手・実施する。コンサルタントは事業所に訪問しコアチームへの指導（ティーチング）ならびにコーチングを行いながら、この5つの基本要素を繰り返していきます



プロセス3 新しい支援が事業所に根付く



★各事業所ならびにコンサルタントの条件次第ですが、「1年間」「月1回ペースの訪問」が最低ラインです。

ケース1 加齢児の地域移行のための受け皿必要

社会福祉法人 大きい空



決断
コンサルテーション導入
 新施設長候補の櫻井は2年間の準備期間スタッフと共に積極的に講演会、研修会や県内外の先駆的事业所視察した。ある講演会で中川に出会い、コンサルテーションを依頼

この人なら!
 特に行動障害の激しいユニットに対して初年度は1ヶ月に2日間の契約



4年後の現在
 現在も数ヶ月単位で大きな自傷や異食はあるものの一定の水準の支援が組み上がり自主的な支援も行なえるように



コンサルテーション導入の例

ケース2 公費によるコンサルテーションを活用して

NPO法人 希望

地域で行き場のない障害者を支えるため15年前に設立されたNPO法人希望は東部生活介護と2箇所のGHを運営
 10年前から...



う〜ん困った!
 県の新しい強度行動障害者支援の取組があるそうですよ



しかし吉野は今までは全く違った! コンサルテーション導入



より詳しく知りたい方は下記のURLから『強度行動障害者養成研修を現場で活かすために:コンサルテーション導入のガイド』をダウンロードしてください!

お問い合わせ・資料請求は

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会 (全自者協)

社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所
 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155



<http://zenjisyakyo.com/>